

用語解説

○教育方針

各高校における学校経営の方針で、入学した生徒を3年間でどのような生徒に育てたいのかを示しています。

○志願してほしい生徒像

各高校がどのような生徒に入学してほしいのかを示したものです。自分に最も合う学校を選ぶための参考にしてください。

○前期募集の募集定員に対する募集率

各高校の募集定員に対して、前期募集で募集する割合を示したものです。例えば、募集定員200名の学校の場合、前期募集の募集率が30%以内であったとすると、 $200名 \times 30\% = 60名$ を上限に前期で募集することになります。なお、県立高校の募集定員は11月上旬に発表する予定です。

○出願の条件

各高校が前期募集で志願してほしい生徒の条件として示すものです。内容をよく読んで、自分がどの条件に該当するのか、自分自身を振り返ってみてください。その上で、中学校の担任の先生や保護者の方の意見を参考にしながら、出願する高校を選んでください。

○面接【全員実施】

前期募集志願者全員を対象に、志願先の高校で実施されるもので、志望理由や興味・関心、中学校で取り組んだこと等について質問されます。

実施形態としては、個別面接と数名で行う集団面接があり、受検者数によっては個別面接から集団面接に変更になる場合もあります。

○特色適性検査【選択実施】

各高校・学科の特色を踏まえて、志願者に適性があるかどうかをみるもので、知識を活用する力、思考力、判断力及び表現力が求められます。普段から自分の考えをきちんと表現できるようにしておくことが大切です。なお、問題例は下のアドレスから見ることができます。

https://www.pref.yamanashi.jp/documents/7061/r6_zenki_kensagaiyou.pdf

○所見（学習活動及び生活状況に関する所見）

中学校での学習活動や生活状況について、中学校長が、A（十分満足できる）、B（満足できる）、C（努力を要する）の3段階で評価するもので、前期募集志願者の提出書類の一つとなります。この「所見」の選抜資料比重は、各高校から公表されます。毎日の授業にしっかり取り組むことはもちろん、学校行事に積極的に参加したり、学校のきまりを守ったりして充実した中学校生活を送ることが大切です。

○特技【選択実施】

中学校における取り組みの成果について、客観的に証明することが可能な書類により審査を行います。この場合の書類とは、賞状や認定証の写しが添付された実績報告書、中学校長による実績証明書等を指します。

○個性表現【選択実施】

学力検査では見いだせない個人の特性を多面的に評価するために実施するもので、中学校において努力して取り組んできたことや自分の得意とすることがらを自由に表現します。個性表現の例としては、楽器演奏、創作ダンス、リフティング、スピーチ、研究発表、美術作品の披露などがあります。

○調査書の取り扱い

調査書は、中学校3年間の活動の全てが記録されています。前期募集は、各高校が定める選抜資料比重に基づき様々な尺度で評価を行うため、調査書の学習の記録について、評価の対象とする学年を指定したり、学科の特性により各教科に傾斜を付ける高校があります。